

科目	目的・目標	内 容	単位 (時間)	方法	進度
生活再構築を支える実習Ⅱ (急性期)	<p><目的> 急性期にある対象及びその家族を理解し、周手術期に応じたタイムリーな看護、退院後のその人らしい生活を支援する看護実践の実際を学ぶ。</p> <p><目標> I. 急性期にある対象の身体的・精神的・社会的側面から健康状態を捉える。 II. 対象の疾患、及び急性期治療とその看護について学ぶ。 III. 急性期にある対象とのコミュニケーション方法を学ぶ。 IV. 急性期にある対象の経過に応じた看護を、指導者と共に実施できる。 V. 多職種連携チームの一員として看護職者の役割を理解する。 VI. 退院後のその人らしい生活を支援する看護を考えることができる。 VII. 実習にふさわしい学習態度がとれる。 VIII. 実習を振り返り学びの統合と発展をすることができる。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 成人・老年期にある対象の特徴を身体的・精神的・社会的側面から捉える。 2. 対象の健康問題が個人及び家族や社会に及ぼす影響を理解する。 3. 急性期看護の役割と内容を理解する 4. 対象および家族の意思決定プロセスを理解する。 5. 関連部門・多職種との連携・調整の必要性を理解する。 6. 保健医療チームの一員として看護職者の役割を理解する。 	2 90	<p>【臨地】 場所：星総合病院</p> <p>期間：9日間</p> <p>形態：1G 4名程度 ・成人・老年期の急性期・回復期にある対象を受け持つ。 ・カンファレンスを実施し、対象の個別性に応じた看護の理解を深める</p>	3年次 前期